



令和2年度

松浪小だより

第3号

学校教育目標……『豊かな心を持ち、自律して行動できる子』を育む学校

目指す子ども像…『・進んであいさつする子・自ら学び、自分の考えが言える子・人の話が聞ける子
・元気よく友だちと遊ぶ子・進んで仕事をする子』

理想とする学校像……「共に学び 共に歩み 共に創る」

①児童や教職員が生き生きする学校

②保護者や地域から信頼される学校

③教職員が互いに研ぎ合う学校

令和2年5月29日(金)発行

茅ヶ崎市立松浪小学校 校長 安倍 武雄

「学校の安心・安全」と「子どもたちの学び」の 両立をめざしつつ「再開」します

やっと天候が落ち着き、青空がまぶしい日が続くようになりました。緊急事態宣言が解除となり保護者の皆様におかれましてはちょっとほっとしているところではないでしょうか。また、学校休業中には課題の配布・回収や地域訪問、お電話への対応、スプレーボトルの寄付などたくさんのご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

さて、5月26日付連絡メール2の通り、6月1日より学校は可能な限りの安全対策をとりつつ再開します。学校に子どもたちが帰ってくることを想像すると、自然と顔に笑みが浮かびます。しかし、いつもの長期休業明けとは違った緊張感ももっています。

それは、やはり児童の安心・安全にかかわる部分です。学校という場所では、完全に密を避けることが難しいです。子どもたちは何もしなければ自然に集まり、密を生み出してしまっています。施設を見ても、2m以上の間隔を保ちながら安全に活動できるキャパシティを持っていません。だからといって、このまま危険性がゼロになるまで、子どもたちの学びを自学自習にとどめておくわけにもいきません。自分の考えをもち、先生や友達とそれを交流させることで、「なるほど!」「そうだったのか!」「わかったぞ!」と心を震わせながら、自分の内にあるものの形を変えていくことが学校ならではの学びの本質だからです。

これからの時代はコロナウィルスと共に生きていく時代だといわれます。これから長きにわたるウィルスとの戦いを考えると、当面は、可能な限りの安全対策をとりながら、子どもたちも私たちもコロナウィルスに対する正しい知識を身に付け、自分の身を守る方法を実践できる技能を身に付け、感染症に対する差別や偏見に対して適切な行動がとれるようになることが必要だと考えます。

松浪小学校では、市や県、国のガイドラインに則り、松浪小だより4月号でお伝えした、「(1)子どもの安心・安全を最優先にする(2)子どもたちの学びを保証する(3)教職員の安全を最大限確保する(4)学校再開に向けて準備をすすめる」の基本方針のもと、「松浪小新型コロナウイルス感染症対策」(別紙)をまとめ、可能な限りの安全対策を実行に移していきます。ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

それぞれのご家庭におきまして、学校からのお願い事にご協力いただくことがたくさんあるかと思います。学校、学年、学級からのお便り、連絡メール2、学校HPなど様々なメディアを利用して情報発信をしまいいります。学校からの情報の共有をぜひお願いします。

それにしても…。子どもたちに会えると思うとワクワクします!気持ちは明るく、それでも緩まず、前へ前へと進んでいきたいですね。